

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（「国語2」三省堂） ・ワーク（「国語の学習2」明治図書） ・ワーク（「学習漢字ノート2」浜島書店） ・ワーク（「すらすら基本文法」浜島書店） 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料集（「国語便覧」浜島書店） ・書写「中学書写」（光村図書） ・硬筆練習帳（教育同人社）
------	--	--

【指導の重点】

- ・国語を正確に理解し、適切に表現する能力を育てる。
- ・想像力や思考力を養い、言語感覚を豊かにする。
- ・国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。
- ・話す・聞く分野と書く分野の効果的学習方法を工夫する。
- ・図書館を効果的に活用し、読書の充実を図る。
- ・ICT活用を積極的に行う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	①名づけられた葉（詩） ②セミロングホームルーム（小説） ③敬語の意味と種類 ④じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか（説明文） ⑤グループディスカッション ⑥人間は他の星に住むことができるのか（説明文） ⑦文法（動詞） ⑧短歌の世界／短歌十首 ⑨壁に残された伝言 ⑩生涯の友と出会う	①詩のリズムを感じ取りながら音読し表現の効果について考える。詩にこめられたものの見方を捉える。 ②人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③敬語のはたらきを理解し、正しく使う。 ④文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ⑤互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。 ⑥主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。 ⑦それぞれの品詞のはたらきについて正しく理解する。 ⑧短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。 ⑨文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ自分の考えを広げたり深めたりする。 ⑩読書の充実を図る。
	①文法（動詞、形容詞、形容動詞） ②100年後の水を守る（評論） ③プレゼンテーション	①それぞれの品詞のはたらきについて正しく理解する。 ②文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。文章を読んで理解したことと、知識や経験とを結びつけて、自分の考えを広げる。 ③社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。話し手の意図や話の内容を分かりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。

<p>④枕草子・徒然草（古文）</p> <p>⑤漢字のしくみ（熟語の構成・熟字訓）</p> <p>⑥平家物語（古文）</p> <p>2 ⑦複数の情報を関連づけて考えをまとめる （情報）</p> <p>⑧共生社会に関するデータ（図表）</p> <p>⑨自立とは「依存先を増やすこと」（解説）</p> <p>⑩投稿文</p> <p>⑪大阿蘇（詩）</p> <p>⑫言葉発見（類義語・対義語・多義語）</p> <p>⑬小さな手袋（小説）</p> <p>⑭手紙・メール 心をこめてわかりやすく</p> <p>⑮読みたくなるしくみを工夫する</p>	<p>④自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。</p> <p>⑤二字熟語の構成の型を理解する。 熟字訓についての理解を深める。</p> <p>⑥語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えを持つ。</p> <p>⑦⑧⑨意見と根拠などの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>⑩多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。</p> <p>⑪詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。 眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。</p> <p>⑫類義語・対義語・多義語について理解する。</p> <p>⑬登場人物の人物像と相互関係を捉える。 主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。</p> <p>⑭相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。</p> <p>⑮読書の充実を図る。 作品の魅力や特徴について研究し、伝わるように創作する。</p>
<p>3 ①漢詩の世界（漢文）</p> <p>②文法（助詞・助動詞のはたらき）</p> <p>③動物園でできること（評論）</p> <p>④漢字のしくみ（熟語の読み）</p> <p>⑤論説文 構成を工夫して考えを伝える</p> <p>⑥走れメロス（小説）</p> <p>⑦情報誌 地域の魅力を振り返って</p>	<p>①漢詩の表現やリズムを捉え、読みを味わう。 漢詩に書かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。</p> <p>②助詞・助動詞のはたらきについて正しく理解する。</p> <p>③文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。</p> <p>④熟語の読みを、分類的に理解する。</p> <p>⑤伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。</p> <p>⑥人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。 工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。</p> <p>⑦集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っって考えをまとめる。地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。</p>

【評価対象】

- ① 授業準備、学習態度、発表や作業の様子 等
（意欲的に学習に取り組む、自分の考えをまとめる、主体的に授業に参加している）
- ② 提出物の状況（ノートやワーク、プリント、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している）
- ③ 定期テスト、漢字テスト、小テスト等

【学習アドバイス】

- ① 忘れ物はせず、授業準備をしっかりとしておく。
- ② 先生や仲間の意見をしっかりと聞き、よく考え、自分の考えをより豊かなものにする。
- ③ 積極的に発言、質問をする。
- ④ 重要な点や先生が強調した点は教科書やノート、ワークにチェックをしておく。
- ⑤ ノート、ワーク、プリント類は丁寧に書き、プリントはその都度ノートに貼る。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(「中学生の地理」帝国書院、「新しい社会歴史」東京書籍) ・ワーク(「社会の自主学習地理1」新学社、「社会の自主学習歴史1」新学社、「社会の自主学習地理2」新学社 「社会の自主学習歴史2」新学社) ・資料集(「アドバンス中学地理」帝国書院、「まなび考える歴史」浜島書店)
------	---

【指導の重点】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、グローバルな舞台で活躍する公民としての基礎的な資質を培う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	<p>【歴史的分野】 中世の日本 武士の政権の成立</p> <p>【地理的分野】 アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州</p>	<p>武士はいかにして力を持ち政治にかかわるようになったのか、流れをつかむ。</p> <p>世界の諸地域の特色と気候や植生との関係をつかむ見方、考え方を養う。</p>
2	<p>身近な地域の調査 調査方法と地形図 日本の地域的特色 地形、気候、人口と産業 日本の諸地域</p> <p>九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方</p>	<p>世界の国と日本を比べることで、日本の特色を多面的に理解する。一次産業から三次産業の特色を分かる。</p> <p>日本の諸地域において、基本的な地形と自然環境の特色を知る。地域の産業の特色と他地域との違いを比べ、理解を深める。諸地域の課題と生活の様子をつかむ。</p>
3	<p>【歴史的分野】 中世の日本 ユーラシアの動きと武士の政治 近世の日本 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と対外政策 農業の発展と幕府政治の動き 近代日本の歩み</p>	<p>近世の日本は外国からどのように影響を受けたのか、日本の政治をどう変化させたのか考える。</p> <p>天下統一事業はどのような流れで成し遂げられたのか大観する。江戸時代の幕府政治の特色と庶民の生活を理解する。</p>

【評価対象】

- ・定期テスト…主に知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する問題を出题する。テストまでにどれだけ反復練習したのか意欲を見る。
- ・ロイロノートなどを利用した提出物…資料を見ながら判断し、自分の言葉で表現する力を見る。
- ・授業ノート、学習ワーク…どれだけ意欲的に授業に向かい、理解を深めようとするのか判断する。

【学習アドバイス】

- ・授業中に話を聞く…話を聞くことで理解が深まり、自分の考えを持つことができます。
- ・ノートを工夫する…ノートにメモを取る、余白を活用するなど工夫しましょう。しかしノートばかりに気を取られているのはよくありません。
- ・ノートを見直す…ノートは教科書や授業の要点がまとめられたものです。まずはノートを見直すことが学習の始まり。
- ・ワークを繰り返しやる…反復は学習の基本です。社会科の知識・技能が主に身に付きます。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（「これからの数学2」数研出版） ・ワーク（「数学の学習ノート2年」数研出版） ・サマースクール(明治図書) ・ウインタースクール(明治図書)
------	--

【指導の重点】

- ・数学に対する意欲関心を高め、基礎的な知識・技能を身に付けさせるとともに、数学的な思考力、推理力、論理性を養う。
- ・ICTを活用することで、多角的に事象を見る力を養う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	1章 式の計算 2章 連立方程式	文字を使った四則計算ができる。 文字式を利用して、説明することができる。 等式を適切に変形することができる。 2元1次方程式とその解の意味を理解する。 連立方程式を加減法・代入法を用いて解くことができる。 連立方程式を利用して問題を解くことができる。
2	3章 1次関数 4章 図形の性質と合同 5章 三角形と四角形	1次関数の関係を理解し、式に表すことができる。 1次関数のグラフが直線であることを理解し、かくことができる。 2元1次方程式を1次関数の関係としてとらえることができる。 具体的な事象で、式やグラフを利用して1次関数の関係を理解できる。 用語の意味や性質について理解することができる。 図形の性質を使って、角度を求めることができる。 合同条件を理解し、合同な三角形を見つけることができる。 三角形が合同であることを証明することができる。 定義と定理の違いを理解する。
3	6章 データの活用 7章 確率	図形の性質を理解し、証明することができる。 四分位数や四分位範囲の必要性和意味を理解する。 箱ひげ図をもとに、データの傾向を把握することができる。 同様に確からしいことに着目し、確率の必要性を理解する。 確率を求めることができる。 表や樹形図などを利用して、起こりうるすべての場合を求めることができる。 具体的な事象について確率を用いて解決することができる。

【評価対象】

- ① 授業準備、授業内容に取り組む様子(意欲的に学習に取り組む,自分の考えをまとめる,主体的に授業に参加している)
- ② 提出物の状況(ノートやワーク、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している)
- ③ 授業で行う小テスト
- ④ 定期テスト、課題テスト等

【学習アドバイス】

- ① 忘れ物はせず、授業準備をしっかりとしておく。
- ② 授業では積極的に学習内容に取り組む。
- ③ ノートやプリント整理等、丁寧に取り組む。
- ④ 提出物は完成させて期日を守って出す。
- ⑤ 短時間でもよいので、習ったことは早めに復習をして理解を深める。
- ⑥ 分からないことはそのままにせず、先生に質問するなど解決できるように努力する。
- ⑦ やり直しはその都度丁寧にを行う。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（「未来へ広がるサイエンス2」啓林館） ・理科ノート2年（新学社） ・理科の自由学習2年（新学社）
------	---

【指導の重点】

身のまわりで起こる自然事象に主体的に関わり、目的意識を持って 観察、実験などを行うことやICTを活用することを通して、物事を科学的に探究する力を育てる。また、自然事象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	[物質]化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	物質は原子や分子からできていることを説明できる。 原子や分子を化学式で表し、物質の組成や化学変化を化学式や化学反応式で表すことができる。 実験を通して化合・酸化・還元を理解し、化学変化には熱の出入りがあることを理解する。 化学変化の前後で物質の質量の総和が等しいこと、反応する物質の質量には一定の関係があることを理解する。
	[生命]動物の生活と生物の進化 1章 生物の体をつくるもの	細胞のつくりの特徴を理解し、細胞がどのように生物の体をつくり、活動のエネルギーを得ているか理解する。
2	2章 植物の体のつくりとはたらき	植物の根・茎・葉のつくりと光合成・呼吸・蒸散のはたらきについて理解する。
	3章 動物の体のつくりとはたらき	消化・吸収、血液の循環、不要な物質の排出のしくみについて理解する。
	4章 動物の行動のしくみ	感覚器官、神経および運動器官のつくりを理解する。
	[地球]地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のようにす 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	大気による圧力（気圧）と気象要素の観測・記録の方法について理解する。 霧や雲のでき方、地球上の水の循環、湿度について理解する。 気圧配置による大気の動き、天気の変化について理解する。 海と陸の温度差による大気の動きや気団と関連づけて日本の四季の天気の特徴を理解する。
3	[エネルギー]電流の性質とその利用 1章 電流の性質	回路の性質や電流と電圧の関係を理解し、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。
	2章 電流の正体	静電気と電流の関係、真空放電の実験から電流の正体について理解する。
	3章 電流と磁界	電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用、直流と交流の違いを理解する。

【評価対象】

- ① 授業準備、授業内容に取り組む様子（意欲的に学習に取り組み、主体的に授業に参加しているか）
- ② 提出物の状況（ワーク・レポート・ノート等、課題をきちんと完成させ、期日を守って提出しているか）
- ③ 定期テスト、課題テスト等

【学習アドバイス】

- ① 忘れ物はせず、授業準備をしっかりとしておく。
- ② 授業では積極的に学習内容に取り組む。
- ③ プリントの整理等、丁寧に取り組む。
- ④ 提出物は完成させて期日を守って出す。
- ⑤ 短時間でもよいので、習ったことは早めに復習をして理解を深める。
- ⑥ 身近なことに興味を持ち、調べたり考えたりしよう。

使用教材	・中学生の音楽 (2・3年上と2・3年下) ・中学生の器楽 ・ワークブック (2・3年)	・アルトリコーダー ・ファイル
------	--	--------------------

【指導の重点】

- ・音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を育成する。
- ・音楽と生活とのかかわりに関心をもって生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育む。

【年間学習計画】

学期		学習のねらい・身につけてほしい力
前期	「夢の世界を」 (歌唱) 「翼をください」 (歌唱) 「交響曲第5番ハ短調」 (鑑賞) 「ラヴァースコンチェルト」 (器楽) 「夏の思い出」 (歌唱) 「夏の日の贈りもの」 (歌唱) ~校内音楽会に向けて~ 課題曲・自由曲 (歌唱)	曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌う。 曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫する。 曲の仕組みに注目して名曲を楽しむ。 基礎的な奏法を身に付け、美しい音色に注意しながら演奏する。 言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫する。 旋律の動きを理解して表現を工夫する。 互いの声を聴き合い、各声部のバランスを工夫して歌う。
後期	~校内音楽会に向けて~ 課題曲・自由曲 (歌唱) 「威風堂々」 (器楽) 「サンタルチア」 (歌唱) 「花の季節」 (歌唱) 「アイダ」 (鑑賞) 「日本の民謡」 (鑑賞) 「日本の郷土芸能」 (鑑賞) 「早春賦」 (歌唱)	互いの声を聴き合い、各声部のバランスを工夫して歌う。 基礎的な奏法を身に付け、美しい音色に注意しながら演奏する。 曲の特徴を生かして表情豊かに独唱する。 速度や強弱の変化を生かして、多彩な表現を工夫する。 オペラに親しみ、その音楽を味わう。 日本の民謡に親しみ、声や音楽の特徴を感じ取る。 日本の郷土芸能に親しみ、その音楽の特徴を味わう。 強弱の変化を生かした表現を工夫する。

【評価対象】

- ① 定期考査 (楽曲の生まれた背景や詩の内容、作詞・作曲者、器楽、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する)
- ② 実技テスト (大きな声で堂々と歌い、基本的な奏法等を身につける)
- ③ 振り返りシート (主体的、能動的に学習をすすめ、客観的に自身の学びを捉え、次に生かそうとしている)
- ④ 課題プリント・ワーク (感じたことを素直に表現し、丁寧に書けている)
- ⑤ 積極的に歌唱・器楽演奏ができている
- ⑥ 忘れ物なく授業準備ができている

【学習アドバイス】

- ① 忘れ物はせず、授業準備をしっかりとしておく
- ② 授業では積極的に歌唱・器楽練習に取り組む
- ③ プリント教材の整理がきちんとする
- ④ 提出物は完成させて期日を守って出す
- ⑤ 集団行動に参加し、自己の表現をする

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（美術2・3年上下） ・美術資料 ・スケッチブック 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具セット ・配布プリント
------	---	--

【指導の重点】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

対話的な学習を増やし、学びが深まるような授業づくりを行う。

【年間学習計画】

学期	学習内容（○表現、●鑑賞）	☆学習のねらい・★身につけてほしい力
前期	<p>○広がる模様の世界</p> <p>○スタンドグラスで光る模様</p> <p>●文化の出会いがもたらしたもの</p>	<p>☆身近な模様や世界の伝統文様に注目し模様のおもしろさを感じる。</p> <p>☆地域の特徴を図柄にし親しみをもつ。</p> <p>☆作成した模様を用いスタンドグラスを通して光の美しさを感じる。</p> <p>★細かい作業から丁寧に制作する技能を身につける。</p> <p>☆西洋の美術作品に影響を与えた日本美術作品のよさや美しさはどのようなところにあったのか、作品の特徴や時代背景なども視野に入れながら考え、意見を述べ合う。</p> <p>★ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考える。</p>
後期	<p>○モダンテクニックを用いた抽象表現</p> <p>○透視図法を用いた風景画</p> <p>○パンフレットで自分の好きを紹介しよう</p>	<p>☆モダンテクニックを通して偶然できた形などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに全体のイメージをとらえることを理解する。</p> <p>絵の具や道具の適切な生かし方を身につけ、表現の意図に応じて見通しを持って工夫して表す。</p> <p>☆見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。</p> <p>☆主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。</p> <p>☆互いの作品を鑑賞し合い、視点を変えることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。</p> <p>★普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に表す。</p> <p>☆人をひきつけ、伝えることを目的とした形や色彩などの性質や、伝える相手や内容などから伝達の効果と造形的な美しさなどの調和を考える。</p>

●美術ってなんだろう

★描画材やPCなどの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求する。

☆作品を鑑賞し、その場の雰囲気やわくわく感を想像させてイメージを話し合う。

☆身近な環境の中に見られる造形物などが、建物や街などの空間に息づくイメージや美しさなどを感じる。

★作品と人々の暮らしや街並みの様子がどのように融合しているかに気付かせ、芸術のある豊かな暮らしについて考えさせる資料とする。

【評価対象】

- ① 授業準備、学習態度、姿勢、意欲（主体的に学習に取り組む態度）
- ② テストなどによる実技に関わる知識（造形的な視点を豊かにするための知識）
- ③ 作品制作の技能・工夫、完成度（表現方法を工夫し創造的に表す技能）
- ④ ワークシートなどによる作品制作の発想・構想（発想や構想に関する資質・能力）
- ⑤ ワークシートなどによる作品鑑賞、テストによる鑑賞の知識（鑑賞に関する資質・能力）

【学習アドバイス】

- ・ 提出物はきっちり提出期限を守って出す。
- ・ 日常のいろいろなものに目を向けたり、色や形に注目する。作品制作のヒントになります。
- ・ 画材や材料の性質をふまえて工夫して使う。
- ・ 自分の作品、他者の作品のいいところを見つけ、次の作品制作に生かす。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(「新しい保健体育」東京書籍) ・ワーク(「保健体育ノート2年」新学社) ・体育実技書(「ワンダフルスポーツ」新学社)
------	---

【指導の重点】

- ・心身の健康保持・増進を目指し、体力づくりを推進すると共に生徒に 体育活動の必要性を理解させる指導を目指す。
- ・生涯スポーツの観点から、運動に親しむ姿勢や態度を養い、将来の生活の中に運動を取り入れてい こうとする意欲を持たせる指導を目指す。

【男子・年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	集団行動	基本的な集団行動を身につける。
	体ほぐしの運動 【体ほぐし運動】	手軽な運動を行い、心と体のとの関係や心身の状態に気づき仲間と積極的に関わること。
	体力を高める運動 【体づくり運動】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うこと。
	陸上競技 【陸上競技】 (走り幅跳び・走り高跳び)	スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと。リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶこと。
	水泳 【水泳】 (クロール・平泳ぎ)	手と足の動き、呼吸のバランスをを取り早く泳ぐこと。長く泳ぐこと。
	ゴール型 【球技】 (バスケットボール)	ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。
	傷害の防止 【保健】	傷害の防止について理解を深める。
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 【体育理論】	運動やスポーツは身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的效果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。
2	体力を高める運動 【体づくり運動】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うこと。
	ネット型 【球技】 (バレーボール)	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
	器械運動(鉄棒) 【器械運動】	支持系、懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと。
	陸上競技(長距離走) 【陸上競技】	ペースを守って走ること。
	傷害の防止・健康な生活と疾病の予防 【保健】	傷害の防止について理解を深める。健康な生活と疾病の予防について理解を深める。
運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 【体育理論】	運動やスポーツには特有の技術があり、その学び方には運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること。	
3	体力を高める運動 【体づくり運動】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うこと。
	ネット型 【球技】 (バドミントン)	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
	ゴール型 【球技】 (サッカー)	ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。
	健康な生活と疾病の予防 【保健】	健康な生活と疾病の予防について理解を深める。
運動やスポーツの意義や効果 【体育理論】	運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調な	

と学び方や安全な行い方	どを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意することが必要であること。
-------------	-------------------------------------

【女子・年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	集団行動	基本的な集団行動を身につける。
	体ほぐしの運動	手軽な運動を行い、心と体のとの関係や心身の状態に気づき仲間と積極的に関わること。
	体力を高める運動 【体づくり運動】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うこと。
	ネット型 【球技】 (バレーボール、ソフトテニス)	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
	水泳 【水泳】	手と足の動き、呼吸のバランスをを取り早く泳ぐこと。長く泳ぐこと。
2	傷害の防止 【保健】	傷害の防止について理解を深める。
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 【体育理論】	運動やスポーツは身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。
	体力を高める運動 【体づくり運動】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うこと。
	陸上競技(走り幅跳び) 【陸上競技】	スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと。
	器械運動(跳び箱) 【器械運動】	技の上達や達成について、自己や仲間の課題を解決し、滑らかに安定して行う。
3	陸上競技(長距離走) 【陸上競技】	ペースを守って走ること。
	傷害の防止・健康な生活と疾病の予防 【保健】	傷害の防止について理解を深める。健康な生活と疾病の予防について理解を深める。
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 【体育理論】	運動やスポーツには特有の技術があり、その学び方には運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること。
	体力を高める運動 【体づくり運動】	体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うこと。
	現代的なリズムのダンス 【ダンス】	リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ること。
3	ゴール型 【球技】 (バスケットボール)	ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。
	健康な生活と疾病の予防 【保健】	健康な生活と疾病の予防について理解を深める。
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 【体育理論】	運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意することが必要であること。

【評価対象】

- ①授業準備、学習態度、発表や作業の様子 等
(意欲的に学習に取り組む、自分の考えをまとめる、主体的に授業に参加している)
- ②提出物の状況 (ノートやワーク、プリント、レポート、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している)
- ③振り返りシート (主体的、能動的に学習をすすめ、客観的に自身の学びを捉え、次に生かそうとしている)
- ④定期テスト
- ⑤授業準備、授業内容に取り組む様子 (意欲的に学習に取り組む、自分の考えをまとめる、主体的に授業に参加している)

- ⑥提出物の状況（ノートやワーク、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している）
- ⑦定期テスト
- ⑧課題プリント・ワーク振り返りシート（主体的、能動的に学習をすすめ、客観的に自身の学びを捉え、次に生かそうとしている

【学習アドバイス】

- ①授業における持ち物を忘れない。
- ②授業開始2分前には教室、体育館、またはグラウンドに集合する。
- ③「聞く力」を身につけ、授業中のルールを守り、誰もが安全で楽しめる授業作りに協力する。
- ④保健の授業では、板書を丁寧にするとともに、聞き取った内容も、ノートの空いている所に記入する。
- ⑤提出物は丁寧に仕上げ、必ず期限を守って提出する。
- ⑥分からないことがあれば積極的に質問する。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍「新編 新しい技術・家庭」 ・技術・家庭ノート（技術分野） ・栽培実習キット ・エネルギー変換実習教材
------	---

【指導の重点】

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
前期	※前期は家庭分野	
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術は何だろう ・作物の育成環境を調節する技術 ・作物の成長を管理する技術 ・動物を育てる技術 ・水産生物を育てる技術 ・生物(植物)の育成計画を立てよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解する ・作物の育成環境を調節する技術について理解する ・成長を管理する技術とその目的について考える ・動物を育てる管理技術について、動物の生態と関連付けて考える ・水産生物を安定的に供給するための技術について理解する ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立て、育てる
	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換について知ろう ・電気を作る仕組みを知ろう ・電気を供給する仕組みを知ろう ・電気回路について考えよう ・電気エネルギーの変換と利用方法を知ろう ・電気機器を安全に使用しよう ・エネルギー変換を利用した作品を作ろう ・機械の運動を伝える仕組みを知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換, 変換効率について知る ・さまざまな発電方式の特徴と課題を知る ・電源の種類と特徴、送電の方法を知る ・電気エネルギーを利用する仕組みを知る ・電気エネルギーを様々なエネルギーに変換する仕組みを知る ・電気による事故の原因を知り、防止する方法を知る ・部品を適切に、エネルギーを有効に利用した作品を製作する ・機械の運動を伝えるしくみの特徴と用途を知る

【評価対象】

<ul style="list-style-type: none"> ・技術・家庭ノートの記入状況 ・提出物（ノート等）の状況 ・製作品の技能・工夫・完成度 ・定期テスト

【学習アドバイス】

<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらい(目標)や課題をしっかりとって授業に取り組む。 ・学習内容に関心を持ち、進んで発言・発表に取り組む。 ・自分の生活や作品について、自分なりに工夫をする。 ・実習前の説明をしっかりと聞き、わからないことがあれば説明後に必ず質問する。 ・作業では1つ1つの工程を丁寧に行う。 ・提出物は期限を守って完成させ提出する。 ・他の人の作品にも関心を持ち、お互いに評価しあう。

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍「新編 新しい技術家庭 家庭分野」 ・実習教材「トートバッグ」 ・正進社「技術家庭ハンドノートB 2 私たちの衣生活・住生活」 ・教育図書「デジタル平面計画」
------	---

【指導の重点】

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
前期	私たちの衣生活 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択と手入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関りと目的に応じた着用について理解する。 ・日本の衣文化について理解する。 ・個性を生かした着用を工夫し、適切な既製服の選択を理解する。 ・衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を工夫できる。
	布を用いたものの製作 <ul style="list-style-type: none"> ・トートバッグの製作 	
	私たちの住生活 <ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらき ・健康で快適な住まい ・安全な住まいと地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割と、家族の生活と住空間の関わりについて理解する。 ・健康で快適な室内環境や家庭内事故の危険性について理解する。 ・地震などの災害への備えについて考え、対策を工夫できる。
後期	※後期は技術分野	

【評価対象】

- ・定期テスト 小テスト 実技テスト 製作した作品
- ・レポート 授業プリントなどの記述内容・自己評価
- ・授業態度 発表や作業の取り組む様子

【学習アドバイス】

- ・授業に集中して、話はしっかり聞こう。扱いを間違えると危険なものがたくさんあります。指示をしっかりと理解して、安全に作業しよう。
- ・宿題や提出物の期限は守り、忘れ物がないようにしよう。
- ・学習したことから自分の課題を見つけ、日常生活の中でどんどん実践しよう。

使用教材	・ NEW HORIZON English Course2
------	----------------------------------

【指導の重点】

- ・ 外国語を理解し、積極的に使う態度を育む。
- ・ コミュニケーション活動、音読を通して、英語運用能力の基礎を培う。
- ・ 言語や文化に対する関心を深め、他文化・異文化理解の基礎を培う。
- ・ C A N - D O リストを作成し、授業や評価の検証を行う。
- ・ I C T を積極的に活用し、コミュニケーション活動能力の向上を目指す。

【年間学習計画】

学期	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1	Unit 0 過去進行形, There is~.	思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。
	Unit 1 be going to ~, 助動詞 will, 第4, 5文型	旅行の楽しさと海外の文化や言語について考え、休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。
	Unit 2 動名詞, 接続詞 when, if, that, because	日本や外国の料理を知り、食文化の歴史や変化について考え、好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。
2	Unit 3 不定詞 (名詞的用法, 副詞的用法, 形容詞的用法), It is ... + to + 動詞の原型	これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考え、自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。
	Unit 4 have to, 助動詞 must, 助動詞	日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考え、習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。
	Unit 5 [主語+動詞(人)+]疑問詞+ to+動詞の原形, 主語+be動詞+形容詞+that	だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考え、身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。
3	Unit 6 比較級, 最上級, betterとbest, as+原級+as	身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考え、身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。
	Unit 7 受け身	世界遺産の特徴について知り、その特別な価値について考え、各地の世界遺産を紹介することができる。

【評価対象】

- ① 授業準備、授業に取り組む様子（積極的に声を出し、練習している。主体的に授業に参加している。）
- ② 提出物の状況（ノートやワーク、その他課題をきちんと完成させ、期日を守って提出している）
- ③ 定期テスト、小テスト、パフォーマンステスト等

【学習アドバイス】

- ① 授業準備をしっかりと、忘れものはしない。
- ② 授業では間違いを恐れず、積極的に発言・発表をする。
- ③ ノートやプリントは書き漏らすことなく、ていねいに取り組む。
- ④ 提出物は指示をよく聞いてていねいに取り組み、期日を守って出す。
- ⑤ 授業までにしっかりと予習（新出単語の意味調べや本文を写すなど）を行い、授業に参加する。
- ⑥ 学習した内容は、音読やワーク、ノートの自主学習スペース等を活用し、復習する。